

公益社団法人日本学生陸上競技連合 平成29年度事業計画

(事業目的)

公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という。)は、日本の学生陸上競技界を統括し、かつ代表する学生の競技団体として、学生陸上競技の普及・振興を図り、学生の心身の健全な発達と明るく豊かな学生生活の形成に寄与することを目的とする法人である。

(基本方針)

以上を目的とし、次の3点を軸に事業計画を策定した。

- (1) 学生陸上競技に関する競技会を円滑に開催する。
- (2) 学生陸上競技界の競技力向上を図るため、競技者の国際競技会への派遣及び外国の学生競技者の国内競技会への招致を積極的に推進する。
- (3) 陸上競技の普及・振興を図るため、関係団体と協力し競技者が快適に競技に取り組むことが出来る環境の整備を推進する。

■公益目的事業

公1-競技会

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・参加数	備考
1	2017 日本学生陸上競技個人選手権大会	2017年 6月9日(金) ～11日(日)	Shonan BMW スタジアム平塚	男子18 女子18	110校…660名 100校…600名	※ｽｰﾌﾟ振興基金助成金を申請 第29回ユニバーシアード日本代表選手 最終選考競技会
2	秩父宮賜杯第57回 実業団・学生対抗陸上競技大会	2017年 7月22日(土)	Shonan BMW スタジアム平塚	男子10 女子10		【後援】 スポーツ庁(予定) 秩父宮賜杯 <総合優勝> 内閣総理大臣杯(予定)<総合優勝> 文部科学大臣杯(予定)<男子団体優勝> 厚生労働大臣賞(予定)<女子団体優勝> →申請予定
3	天皇賜盃第86回 日本学生陸上競技対校選手権大会	2017年 9月8日(金) ～10日(日)	福井運動公園陸上競技場	男子22 女子22	130校…1200名 110校…830名	【表彰】 天皇賜盃 <男子総合優勝> 秩父宮妃杯<女子総合優勝> ※ｽｰﾌﾟ振興基金助成金を申請
4	第29回 出雲全日本大学選抜駅伝競走	2017年 10月9日 (月・祝)	出雲市 45.1km 全6区間		国内…23チーム 海外…1チーム	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 内閣総理大臣杯(予定)<優勝校> 文部科学大臣賞(予定)<優勝校> →申請予定
5	第35回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2017年 10月29日(日)	仙台市 38.0km 全6区間		25校+1チーム (東北学連選抜)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
6	秩父宮賜杯 第49回全日本大学駅伝対校選手権大会	2017年 11月5日(日)	名古屋-伊勢 106.8km 全8区間		(25)校+2チーム (全日本大学選抜チーム)/(東海学連選抜)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
7	2017 全日本大学女子選抜駅伝競走	2017年 12月30日(土)	富士宮市 富士市 43.8km 全7区間		20チーム+1チーム(静岡県学生選抜)	【後援】 スポーツ庁(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
8	第21回 日本学生ハーフマラソン選手権大会	2018年 3月4日(日)	立川市		男子…1000名	
9	第12回 日本学生20km競歩選手権大会	2018年 3月18日(日)	能美市		男子…100名 女子…30名	
10	第21回 日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2018年 3月18日(日)	松江市		女子…100名	
※	2017年 日本学生記録集の発行(記録年鑑)	2018年3月末			1,000部発行 学生50傑、主催大会、 関連競技会結果を掲載した記録集	

公2-育成 ①競技者育成(競技会派遣)事業

No.	事業	期日	場所	備考
1	香港インターシティー2017 台北国際陸上 ヨーロッパ転戦	未定	香港/台北他	各派遣事業 男女各3~4名 役員…各1~2名
2	第29回ユニバーシアード競技大会	8月23日(水) ~28日(月)	台北市 (台湾)	男子…24名 女子…14名 役員…15名(予定) ※事前合宿の設定も検討
3	ナイメーヘン・ヒルズ 15kmロードレース	11月19日(日)	オランダ ナイメーヘン	男女各4~5名 役員…3名
4	東京マラソン2018準エリートへの部への 選手推薦	2018年 2月25日(日)	東京	学生マラソン強化事業として東京マラソンに学生ハーフマラソン選手権大会成績上位者を推薦
5	2018クロカン日本選手権	2018年 2月24日(土)	福岡市	【主催】 公益財団法人日本陸上競技連盟 →共催として参画

※ 第21回世界大学クロスカントリー選手権大会は、2018年4月7日(土)開催となり、平成30年度の事業となります。

公2-育成 ②競技者・指導者・審判員育成事業

No.	事業	期日(回)	場所	備考
1	競技力向上のための巡回指導	2~3回	各地	地区学生陸上競技連盟の要請により講師派遣
2	競技者育成費用負担事業	2大会		北日本インカレ、西日本インカレに対し補助金
3	ドーピング・コントロールテスト	5回(予定)	各地	日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟との連携により競技会検査を実施
4	新規B級審判員資格認定	各地区で 講習会を実施	各地	約1,400名(男子…1,000名 女子…400名)
5	学生審判員研修会	2回~3回	各地	地区学生陸上競技連盟の要請により講師派遣
6	フォーラム(第63回指導者会議)	2017年 3月4日(予定)	未定	朝日新聞社、読売新聞社 後援予定

公3-調査・研究

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	陸上競技の研究調査	年4回		「陸上競技研究」誌の発行、 日本スポーツ振興くじ助成申請予定
2	第16回陸上競技学会	年1回		主催：日本陸上競技学会/ 共催として参画

■法人管理部門

組織力管理

No.	事業等	期日・回数	場所	備考
1	第28回理事会 第29回理事会 第30回理事会 第31回理事会 第32回理事会	5/20(土) 6/04(日) 9/07(木) 12/9(土) 2018/3/3(土)	東京 東京 福井市 東京 東京	臨時理事会を行う場合もある
2	定時社員総会	6/04(日)	東京	臨時社員総会を行う場合もある
3	平成29年度学生役員会議 第43回学生幹部役員研修会	12/9 2018/3/1-3/3	東京	参加対象：地区学連幹部学生役員
4	会報の刊行	年3回		各回1,000部(正会員、名誉会員、役員(地区学連加盟校に配布) 内容 事業の報告、会議議事録等
5	ホームページの運営	随時		日本学連公式ホームページ・携帯サイトの運営
6	学連情報の編集・掲載	毎月		機関誌「月刊陸上競技」に掲載
7	公認競技会開催申請及び 記録公認申請	2017年度		日本学連傘下の団体の公認競技会開催受付/日本陸連申請 日本学連傘下の団体の記録公認受付/日本陸連申請
8	会員の入会受付	2017年度		正会員…135名 普通会員(学生)…20000名を想定(男子/15,000名、女子/5,000名) 名誉会員…43名 賛助会員…10名